

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

皮膚バリアの科学から見た本来のスキンケア

●はじめに

皮膚バリア機能は、外部からの異物の侵入を防ぎ・水分蒸散を防ぎ、また、内部の水分を保持するために重要な役割を果たします。本研究では、「多くのスキンケア製品が皮膚バリア機能をサポートする」と謳われていますが、実際には皮膚バリア機能にほとんど影響を与えないことを明らかにします。

●皮膚バリアのモイスチャーバランス

モイスチャーバランスとは、角質層における水分、脂質(皮脂・セラミド)、および NMF の適切な配分が維持されている状態を指します。このバランスが保たれることで、うるおいのある、しっとりした美しい肌を維持できます。この皮膚バリア機能を「保水(保湿)機能」と言います。

●皮膚バリアの細胞間脂質のラメラ構造

細胞間脂質のラメラ構造とは、角質層内の脂質と水分が交互に重なり合った層状の構造を指します。この構造は、脂質の層と水分の層がサンドイッチのように規則正しく並んでいる状態です。主にセラミド、アシルセラミド(セラミド+リノール酸)、コレステロール、脂肪酸などの脂質で構成されており、これにより皮膚のバリア機能が強化されます。この構造が保たれることで、肌は外部からの刺激や異物の侵入を防ぎ、水分の蒸発を抑え、肌は健康で美しい状態を維持することができます。この皮膚バリア機能を「保護機能」と言います。

●スキンケア製品の役割

保湿成分を含む化粧水や乳液、クリームを使うことで、肌にうるおいを与え、そのうるおいを閉じ込めることができます。しかし、これらのスキンケア製品は角質バリアが持っているモイスチャーバランスの保水機能を単に代替しているだけで、そのうるおい効果も一時的です。「多くのスキンケア製品が皮膚バリア機能をサポートする」と謳われていますが、実際には皮膚バリア機能にほとんど影響を与えていないことをほとんどの方は知りません。

「皮膚バリア機能をサポートする」ということは、リノール酸を含む合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品を使用し、皮膚バリアの要である細胞間脂質のラメラ構造を修復・強化することです。これにより、異物の侵入や水分の蒸散を防ぎ、水分保持力を高めることができます。これが本来のスキンケアです。

●結論

「スキンケア製品が皮膚バリア機能をサポートする」と謳われていますが、実際にはほとんど影響を与えていないことをご存知ですか？本当に皮膚バリア機能をサポートするためには、リノール酸を含む合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品を使用し、皮膚バリアの要である細胞間脂質のラメラ構造を修復・強化することが必要です。スキンケアを正しく行うためには、この理解は不可欠です。